

地域と学校がつながる

# コミュニティ・スクール通信

第1号 令和7年6月10日発行

紋別中学校運営協議会

文責:紋別中学校長 佐藤 大

6月2日(月)に令和7年度第1回学校運営協議会が開催されました。今回は、学校運営協議会で議論されたことをご紹介します。

## 令和7年度紋別中学校について

### 北海道教育委員会指定事業「学校力向上に関する総合実践事業」

本年度から令和8年度の2年間、道教委の指定事業を受けることになりました。この事業の大きな目的は、校長のリーダーシップの下、全教職員がチームとなって学校改革を図り、「令和の日本型学校教育モデル」を構築することです。まず、初めに今、求められている授業について授業動画を観て、昭和の世代、平成の世代が学校で学んだ先生が一生懸命説明し、黒板に書かれたことをノートに書き写す授業ではなく、令和の時代に求められている授業は、タブレット端末、電子黒板を使い、子どもたちがグループやペアで学び合ったり、一人で自分の学習スタイルで学んだり、先生の説明を聞きながら学んだりする学習形態について校長より



説明がありました。委員の方々より「自分たちが受けた授業とは違う。」「こんな授業だったら、もっと勉強ができるようになっていたかも・・・」「子どもたちがボーっとすることなく真剣に勉強している」などの意見が出されました。紋別中で実践したことは、紋別市内はもちろん、オホーツク管内の学校に還元されます。12月12日(金)に公開研究会が行われ、北見市内の中学校すべて、遠軽町、佐呂間町、湧別町、興部町、滝上町、西興部村、雄武町の小

中学校の先生方が見学に来る予定です。

## 令和7年度 学校運営協議会の活動計画について

今年度は5回の協議会を開催し、「やってみよう」をキーワードに「子どもたちの未来について語り合い」をテーマに活動することが確認されました。

委員さんから次のようなことが意見交換されました。今後、出された意見をもとに地域と学校がつながる取組を考えていくことが確認されました。



- ・非認知能力を高めることが大切ではないか。
- ・学校が言いづらいことをCSが後押しする必要があるのではないか。
- ・不登校について考えてはどうか。
- ・健全な青春時代をどのように経験させてあげたらよいか。
- ・自分が住んでいる町が素晴らしいこと知ってもらうにはどうしたらよいか。

### 地域と子どもたちがつながれたら・・・

- ・保護者・地域住民に給食試食会はどうか。
- ・高齢者にスマホの使い方を子どもたちが教えてあげる場をつくってはどうか。
- ・高齢者の住宅まわりを子どもたちが除雪するのはどうか。



「ICT授業を体験してみよう」申し込み

「ICT授業を体験してみよう」学校運営協議会主催

6月23日(月)18:30~19:10 会場:紋別中1階学習室

ぜひご参加ください。

